

放送・サービス（国内放送・インターネット）の状況

(中略)

中央放送番組審議会の意見

「コロナ禍が人々のテレビ視聴行動に与えた影響には、一時的なものと、ライフスタイルの変化で今後も継続していくものの、2つがあるという視点でデータを分析すると、より視聴者の動向を正しく把握できるのではないか。」との意見が出された。

受信契約の状況

- ・契約総数は、年間目標 39 万件的増加に対して、42.9 万件的減少。衛星契約は、年間目標 55 万件的増加に対して、16.3 万件的減少となった。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、年度初頭から全国的に訪問活動を停止したこと等により、前年度末と比較して、支払率は 1.8 ポイント低下して 81.0%となった。衛星契約割合は 0.1 ポイント向上して 52.9%となった。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けた方などからの受信料の支払いに関するご相談については、専用の窓口を設け丁寧に対応するとともに、「持続化給付金受給事業者を対象とした受信料免除」について、3月末までの申請期限までに申し出ていただけるよう、あらためて周知を行い、免除の適用件数は **85.6** 万件となった。

受信契約の状況（3月末）

（単位 万件）

契約増加件数	2019 年度			2020 年度			現在数
	年間目標	累計実績	達成率	年間目標	累計実績	達成率	
契約総数	43	43.1	100.1%	39	△42.9	△110.0%	4,169
衛星契約*	58	61.5	106.0%	55	△16.3	△29.8%	2,207
未収削減	△4	△4.0	100.1%	△2	38.7	△1,935.6%	110

※ 衛星契約とは衛星系および地上系によるテレビジョン放送の受信についての放送受信契約

支払率・衛星契約割合

支払率			衛星契約割合		
前年度末	3月末	年度内増減	前年度末	3月末	年度内増減
82.8%	81.0%	-1.8	52.8%	52.9%	+0.1

※2020 年度末支払率は、2021 年度予算編成時に見込んだ受信契約対象数を基に算出した速報値となっている。
今後、各種統計資料の公表に伴い、受信契約対象数を見直し、最終的な支払率は 2020 年度決算にあわせて公表予定。

契約数の推移

